

# 荒川防災景観マップ

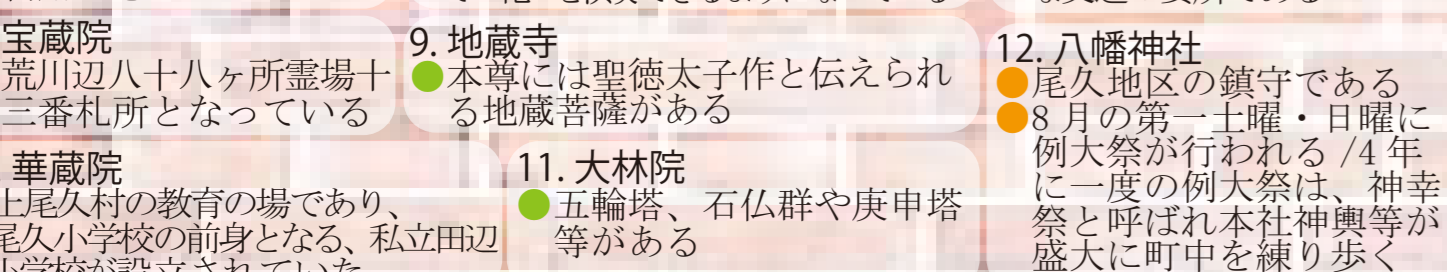
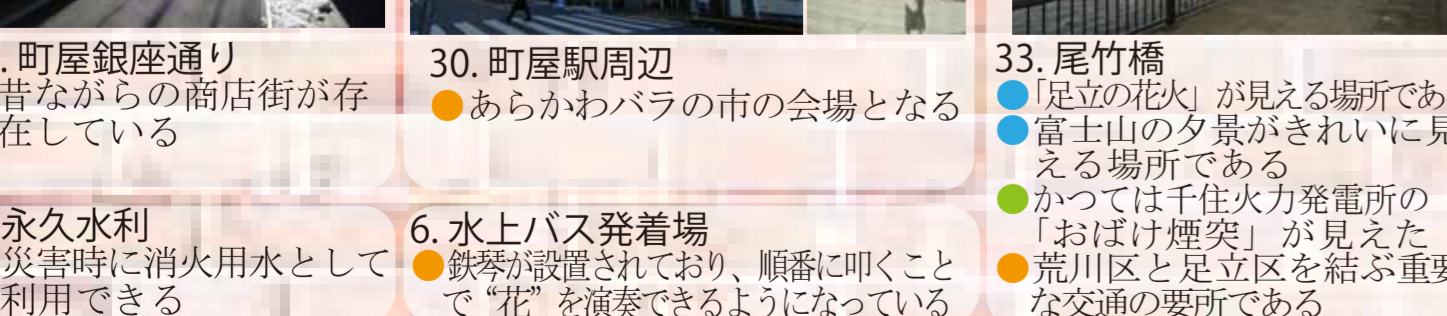
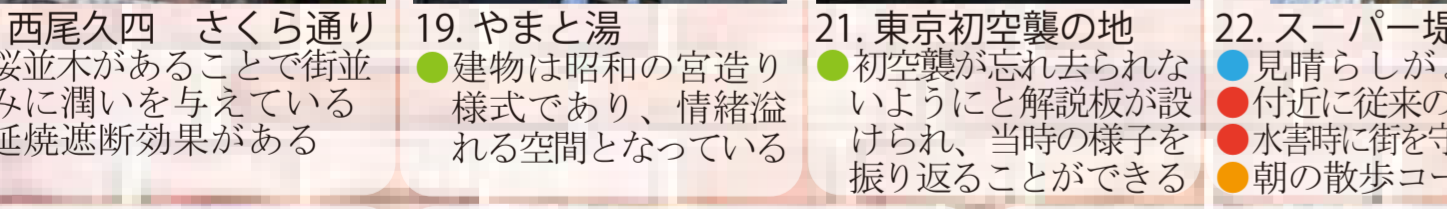
## 【荒川区全域版】

あらかわの日常の風景や記憶の風景を楽しみつつ  
あらかわ防災情報を理解しよう！

### <荒川区景観まちづくり塾と荒川防災景観マップについて>

荒川区では、区の特徴である下町的で情緒のあるたたずまいと人間味あふれる街の景観や歴史ある風景を守り、区民の郷土愛や誇りを育み、次世代に引き継ぐために、平成24年3月に「荒川区景観計画」を策定しました。その計画方針に従い、「荒川区景観まちづくり塾」では、区民・事業者・区との協働により、良好で個性あふれる荒川区らしい景観形成を実現すべく、その新たな担い手の発掘・育成を理念に掲げ、平成28年4月に開講されました。この地図は、荒川区の日常の風景や記憶の風景を楽しみながら、荒川区の防災情報も理解できるようにと、塾生第1期生～第2期生の手によって、「日暮里地区版」「尾久地区版」「南千住地区版」「町屋・荒川地区版」の4地区別に完成させました。

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)29都市基交著第84号(荒川区防災都市づくり部都市計画課)



- 45. 諏訪台通り  
●高台による見晴らしが良い  
●神社や寺が立ち並んでおり、閑静な通りである
- 46. 谷中墓地(台東区)  
●桜の名所である  
●台東区ではあるが、日暮里の一部地域の広域避難場所に指定されている
- 47. 日暮里南公園  
●桜や水遊びが楽しめる広場等があり、多くの人に親しまれている
- 48. 浄閑寺  
●安政の大地震で犠牲となった新吉原の遊女が葬られた寺である
- 49. 三ノ輪橋(音無川)  
●三ノ輪橋は、石神井川の支流として王子から分流した音無川に架けられた橋であった
- 50. 都電荒川線三ノ輪橋停留場  
●花の時期には、色とりどりの華やかなパナが咲く  
●昭和60年度に都電荒川線を花や緑で囲む「都電沿線のバラ植栽事業」が開始された
- 51. 中島弁財天  
●元弁天湯の中庭に置かれていた
- 52. 旧千住製絨所煉瓦塀  
●千住製絨所の敷地を囲んでいた煉瓦塀の一部が今も残されている
- 53. 若宮八幡宮  
●仁徳天皇を祭神としている
- 54. 米倉屋敷跡  
●下野(栃木県) 皆川(みながわ)藩 主米倉氏の下屋敷があったことから「米倉屋敷」とも呼ばれ、親しまれている
- 55. 千住の河岸  
●江戸時代、千住大橋の袂に材木間屋が並んでいた



- 42. 道灌山  
●高台による見晴らしが良い  
●江戸城を築いた室町時代後期の武将・太田道灌の出城址という説がある
- 43. 諏方神社  
●江戸時代には、筑波や日光の連山が見えた  
●日暮里(旧:新堀)・谷中の総鎮守である
- 44. 富士見坂 ※写真は石川正氏撮影  
●平成25年5月頃までは富士山が見える坂だった
- 45. タヤげだんだん  
●レトロな雰囲気漂う谷中銀座商店街に通じる階段である
- 46. 下御殿橋・トインミュージアム  
●数多くの列車の通過を見ることが出来る場所である
- 47. 駄菓子問屋街  
●かつては上野や錦糸町と並んで三大駄菓子問屋街と呼ばれていた
- 48. 砂尾堤  
●歩道には桜の木が植樹されている  
●中世の石浜に砂尾長者と呼ばれる土豪が住んでいたことから砂尾堤と呼ばれるようになった  
●歩道が設けられている
- 49. 回向院  
●解体新書の刊行のきっかけとなった場所である
- 50. 日暮里織維街  
●日暮里中央通り約1キロメートルに渡って生地織物の店舗が軒を連ねている
- 51. 轟護稲荷神社  
●轟護稲荷大明神は火防の神として、地域住民の難を救ったことが数々あると伝えられている
- 52. ジョイフル三ノ輪  
●雨でも濡れないようにアーケード商店街になっている  
●100年以上続く商店街である
- 53. 路地裏(南千住一丁目)  
●昔の情緒ある下町風景  
●所々に井戸がある
- 54. 千住大橋  
●この辺りは、江戸の北の玄関口でもあり、松尾芭蕉の「奥の細道」への旅立ちの地でもある
- 55. 嵩上げされた建物があるエリア  
●水害対策のため、嵩上げされた建物がある
- 56. コツ通り(千住宿)  
●歩道には花桃の木が植樹されている  
●江戸時代から続く商店街がある  
●生活必需品や飲食店などの多くの店が存在する
- 57. 南千住駅前歩道橋  
●隅田川の電気機関車やコンテナ等を上から眺めることができる
- 58. 隅田川駅  
●石浜地区(南千住3丁目、台東区石浜1・1丁目、同橋場1・2丁目)の鎮守である  
●笠木の断面がまぼこのような形をした石浜鳥居がある
- 59. 隅田川駅  
●鉄道貨物駅として、かつての面影を残す数少ない駅である
- 60. 都立汐入公園  
●隅田川を一望することができる  
●スノー堤防となっている  
●テニスコートやサイクリングロードなどがあり、区内唯一のBBQ広場もある
- 61. 白鬚橋  
●スカイツリーを一望することができる  
●「江戸名所図会」によると、古くは「隅田川の渡し」と呼ばれ、「伊勢物語」の在原業平が渡河した渡しであるとしている



14. 八幡堀プロムナード  
●かつては、音無川から分流した用水路が流れていた

15. 小台通り  
●延焼遮断効果がある  
●かつては、音無川から分流した用水路が流れていた

16. 西尾久四 さくら通り  
●桜並木があることで街並みに潤いを与えている  
●延焼遮断効果がある

17. やまと湯  
●建物は昭和の宮造り様式であり、情緒溢れる空間となっている

18. 東京初空襲の地  
●初空襲が忘れられないようにと解説板が設けられ、当時の様子を振り返ることができる

19. 隅田川旧防潮堤  
●古い堤防の一部が記念碑として残されている

20. 都立尾久の原公園  
●広大な公園であり、散歩や朝のランニングをする場として利用されている

21. 旭電化通り  
●かつては銀杏並木や鉛筆工場があった

22. 旧三河島汚水処分場唧筒場(ポンプじょう)施設  
●日本で初めての近代下水道施設である  
●国指定重要文化財に指定されている

23. 満光寺  
●私立田辺小学校的の分校が閉校された  
●その後田辺小学校と並んで現在の尾久小学校の前身となった

24. 仲町通り  
●細い路地に昔ながらの商店や焼肉店等が立ち並んでいる

25. 町屋の一本松跡  
●1693年に植えられた一本の松は巨木に育ち、長い歴史を誇っていたが、第二次世界大戦中に枯死した/現在の松は二代目である  
●かつて一本松の根元にあった「庚申塔」は、今も残されている

26. 町屋ふれあい館  
●ヨガダンス、カラオケなどのコミュニティ施設となっている

27. 六地藏  
●本来の六地藏ではないが、いつの間にか六地藏と呼ばれ、また蓮田の子育て地藏とも呼ばれている

28. 飲食店街  
●店街がある

29. 飲食店街  
●店街がある

30. 飲食店街  
●店街がある

31. 飲食店街  
●店街がある

32. 飲食店街  
●店街がある

【凡例】

- ◇地域の魅力
  - 景観 ●防災 ●歴史 ●生活
- ◇地区 No.
  - 尾久地区: 1~24, 26, 27
  - 日暮里地区: 41~48, 50~52
  - 町屋・荒川地区: 25, 28~40
  - 南千住地区: 53~77
  - 荒川区外(台東区): 49
- ◇防災情報
  - 広域避難場所
  - 避難道路
  - 都立汐入公園一帯
  - 都立尾久の原公園一帯
  - 荒川自然公園一帯
  - 谷中墓地
  - 上野公園一帯
  - JR田端・尾久操車場
  - 準備倉庫
- ◇地区内残留地区
  - 一次避難所
  - 二次避難所
  - 福祉避難所
  - その他の避難所
  - 町会境界線
- ◇地域貢献建築物
  - 小型防火水槽(5t)
  - 消防水利(40t以上)
  - 永久水利
  - 主要公共施設
  - 災害拠点病院・災害拠点連携病院
  - 緊急医療救護所(トリアージポスト)
  - 防災行政無線屋外子局
- ◇防災設備
  - 防災船着場
  - 区役所・区民事務所
  - 消防署・消防出張所
  - 警察署・交番
  - AED(時間内)
  - AED(24h対応)

制作: 日本大学理工学部岡田研究室 / 協力: 景観まちづくり推進委員会

【教員】 岡田智秀教授 田島洋輔助手

【学部生】 水石知佳 森紗耶 伊藤聖 小林裕輝 柴田明 樋口伊吹 新橋一士 永井公基 松岡七海 山口博 小川佳佑

発行日: 平成30年3月3日 問い合わせ: 荒川区防災都市づくり部都市計画課 03-3802-3111(内線2810)